

日時・場所	令和3年6月7日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、赤坂政策調整部長、馬野政策調整部政策監、市木病院事務部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、吉川教育部長、駒井健康福祉部次長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

本日の議題にもある、新型コロナウイルスのワクチン接種について、週末私も市内各地に出向き市民の方から「自分は接種が8月となっているが、この先どうなるのか」などいろんな声をいただいた。市が取り組んでいることについて、きちんと情報発信し、周知することが大事だと痛切に感じた。国難に近い状態であるので、縦割りではなく庁内一丸となって取り組んでいきたいので協力願う。

2. 議題

【報告事項】

①新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

7月末の高齢者接種完了をめざし、市立野洲病院の1日あたりの接種人数を増加させるとともに、新たに第2接種会場を設置し、高齢者の接種を国が求める7月31日に終える。また、かかりつけ医による個別接種も開始する。一般の接種（64歳以下）については、7月1日に接種券を発送し、基礎疾患のある人は7月7日から、それ以外の一般の人は7月12日から予約受付を開始する。

→基礎疾患の有無についてはどうやって判断するのか。

→予約開始を案内する文書に、該当する基礎疾患を明記する。それを参考に予約システムのチェックボックスに自己申告でチェックしていただく。

→プレスする内容はどこまでか。本日の資料全てか。

→本日の部長会議の内容を踏まえて判断する。

→予約前倒しを了解していただいた後、個別接種を周知し、本人が個別接種を希望され、キャンセルを忘れた場合、重複するのではないか。

→個別接種を受けていただける医院から、接種者リストを事前に提出いただくので、本人がキャンセルされなくても市で重複者を把握し削除できると考えている。

→第2会場の契約はいつからいつまでか。

→6月の中旬から、最大年度末と想定しているが、目標として集団接種はインフルエンザワクチン接種が始まる10月末には完了したいと考えている。

→医療スタッフ確保の見通しはある程度できているのか。

→県や民間の派遣、医大の大学院生などのドクターの確保を想定している。また人材確保のための報酬等については人事課と協議している。

→報酬は予算化されているのか。

→既決予算内で対応したい。

→個別接種について医師会の協力は得ているのか。

→コアなどところは協議を始めている。守山野洲医師会の組織として了解いただいていると考え

ている。

→医療スタッフの確保が厳しい中、歯科医師が接種を担っている自治体もある。野洲市は検討しているのか。

→歯科医師には接種の依頼を想定するが、不足しているのは予診を行う医師であり、野洲市としては、歯科医師には協力は要請しない。

→一般接種が始まると、キャンセルが増えると予想されるが、キャンセル分の扱いについてはどうなっているのか。

→キャンセル待ちのルールを考える必要もあるが、様々な課題もあり、とりあえずは現状のルール通りとする。

→組織を拡大して1週間で接種加速化の枠組みができた。これから内容を詰めていく必要があり、部長会議で協議した内容についても、その都度市長、副市長の判断で変わることもあると思うが了承いただきたい。

7月1日（木）から第2会場が始まると、会場運営等動員を要請することになると思うので、一層の協力を願う。今が一番大事な時である。（副市長）

3. その他伝達事項

（健康福祉部）

○昨日の時点でのワクチン接種状況について報告する。1回目接種を終えられたのが2,606人（18.6%）。2回目接種を終えられたのが490人（3.5%）。1回目の予約を終えられている人は11,483人（82.1%）である。

（議会事務局）

○6月3、4日の勉強会に協力いただき感謝申し上げます。

○すでに掲示板で周知しているが、会派名の変更（保守協商→総力戦研究所）があったのでお知らせする。

4. 次回部長会議の予定

6月14日（月）9時00分～ 庁議室

5. 閉会